月日の経つのは、早いものです。
毎年の自己研鑽会の告知をさせていただく時期となりました。毎年ご来場くださる皆様、またご協賛を賜ります皆様に、心よりお礼申し上げます。

ふと振り返りますと、直面の『鉢木』を勤めさせていただいてから、ほぼ四年が経ちました。
素顔で演じる役は、能面をつける役とはまた違い、自分自身の顔がそのまま面となります。それだけに、大きな覚悟が必要と先人から申し伝えられております。
今回勤めます弁慶も、忠義に厚く、機略に富んだ人物であります。また、役の人物像を追うだけではなく、日頃から共演者の皆様との信頼関係を積み重ねてこそ、成立する演目ではないかと感じております。
『安宅』は、平家討伐後、兄・源頼朝と不和になった義経が、家来たちとともに山伏姿に身をやつし、奥州の藤原氏を頼って落ち延びる道中を描いた作品です。
加賀の国・安宅の関で一行を待ち受ける難関を、弁慶はいかに機略をもって切り抜けるのか。歌舞伎の『勧進帳』のもととなった作品としても知られております。
これまでの自己研鑽会を振り返りますと、共演者の皆様、そして応援してくださる皆様のお力添えがあってこそ、次の舞台に挑ませていただけるのだと、改めて感謝の念に堪えません。娘も同じく舞台に立たせていただき、貴重な経験を積ませていただきましたことも、皆様のお陰と深く感じております。
言葉に見合うだけのお稽古を重ね、当日までの日々を大切に過ごし、舞台に臨みたく存じます。
皆様のご来場を、心よりお待ち申し上げております。

2026年11月吉日
長山 耕三


2023年「鉢木」


2024年「自然居士」


2025年「楊貴妃」


2026年「求塚」

【御協賛のお願い】会を継続していけますよう、皆様のご支援をお願いしております。
企業の皆さま‥１口 25,000 円　当日配布の冊子に貴社名を掲載し、２名様をご招待いたします。
個人の皆さま‥１口 10,000 円　１名様を招待席にご招待いたします。
チケットの発売に先出ち、御協賛を受け付けております。ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は、芦屋能舞台ホームページをご覧ください。